

## 別紙

### 東洋製罐株式会社 広島工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東洋製罐株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市下北方1丁目4番1号

(3) 業種

ブリキ缶その他のメッキ板等製品製造業(2411)

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準とする令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの9年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成25年度	令和12年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	70,434	29,582 58	24,351 65.4	27,134 61.5	28,880 59.0	34,693 50.7	36,580 48.1
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	70,434	29,582 58	24,351 65.4	27,134 61.5	28,880 59.0	34,693 50.7	36,580 48.1
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	生産量(対前年度比107%)が増加した為、温室効果ガス削減に努めましたが排出量は増加しました。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100  
《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： (生産数量：単位KL / 百万個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成25年度	令和12年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)	9.47	3.98 58	7.70 18.7	6.67 29.6	6.70 29.3	6.08 35.8	5.98 36.9
実績に対する 自己評価	生産効率向上により原単位は改善しました						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギー使用量の削減	エネルギー使用量2%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の向上 (生産能率向上阻害要因の原因調査と対策の実施)</li> <li>・長時間停止時(型換、仕様変更)の生産設備の電源OFF</li> <li>・長時間停止(2時間以上)のオープン関係低燃焼化</li> <li>・空調の最適化</li> <li>・各部照明のLED化</li> <li>・高効率モーターの採用</li> </ul>
2			
3			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物総量の削減	年間排出量500ton未満	・汚泥発生量の削減

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。